

日本中世英語英文学会主催「第 14 回研究助成セミナー」のご案内
「中世写本を精読する」

研究助成セミナーは、特に若い研究者の皆さんが中世英語英文学の研究を進める上で助けとなるように、様々なテーマを設定して毎年開催されています。本年は学会 30 周年に当たることから、気鋭のダニエル・ウェイクリン博士を招聘します。博士は Palaeography (古文書学) の知識をベースに、読者でもあった中世の写字生がどのようにテキストを「読み」、「写し」、そして「直して」いったのか、ユニークなエピソードを交えつつ多数の例を解説します。

また、日本の研究者が関心を持つと思われる最新の関連研究テーマについても紹介してくださる予定です。

タイトル	中世写本を精読する “Word by Word / and Letter by Lettre”: the Close Reading of Scribal Texts
講師	Dr Daniel Wakelin (St Hilda’s College, Oxford) (Jeremy Griffiths Professor of Medieval English Palaeography)
日時	2014 年 11 月 29 日(土)午後 1:30 - 5:30 (途中休憩有) 11 月 30 日(日)午前 10:30 - 12:30 (二日間)
場所	慶應義塾大学三田キャンパス 東館 4 階セミナー室
使用言語	英語

中世研究においては当時のテキストの物理的な側面に関する知識が不可欠です。本研究助成セミナーでは内容や言語を精読するだけでなく、微妙なスペリングの違い、写本上の一見判読不能なマークや欄外に施した修正にも着目し、通常とは一味違った「読み方」が新しい発見に不可欠であることを学びます。当時の写字生にとっての意外な常識が、新たな研究への手がかりとなるかもしれません。自分の専門領域を違った視点から見つめ直したいという好奇心のある方のご参加をお待ちしています。

参加補助金について

学会に所属する大学院生および常勤職を持たない若手研究者の方には旅費・宿泊費の一部(片道分の交通費 + 宿泊費 5,000 円分)が参加補助金として支給されます。該当する方は申し込みの際にご記入下さい。

申し込み方法

《電子メールの場合》

件名は「第 14 回研究助成セミナー参加希望」、文面には以下の ~ () は該当者を明記して Email 宛先に送信して下さい:【氏名, 住所, 電話, Email, 所属, [学生のみ] 学年・専攻・研究テーマ, [該当者のみ] 参加補助金希望の有無】。〆切は 10 月 31 日(金)。

《郵送・FAX の場合》

同封の参加申込書に必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送または FAX で、10 月 31 日(金)までにお知らせ下さい。申込用紙は学会 HP<<http://www.jsmes.jp>>からもダウンロードすることが可能です。

《宛 先》

【郵送先】〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476 杏林大学外国語学部
高木眞佐子研究室内 日本中世英語英文学会第 14 回研究助成セミナー係
【FAX 送信先】 042-691-8617 【Email 宛先】 <takagi@ks.kyorin-u.ac.jp>